

# Something New

サムシングニュー

vol.39  
WINTER.2016

特集:福祉教育・啓発の活動



すべての人が  
暮らしやすい社会へ

南山城学園は雑誌「Something New」(サムシングニュー)39号 平成28年12月31日発行(年4回発行) 発行責任者: 磯野裕 発行: 社会福祉法人 南山城学園 〒610-0111 京都府城陽市富野狼谷2番地1 TEL.0774-52-0425(代) FAX.0774-53-7578

京都市伏見区  
(醍醐エリア)



京都市  
中京区・下京区  
(保育園)



城陽市  
(城陽・宇治)  
エリア



## 南山城学園とは

1965(昭和40)年に創立以来、50余年、さまざまな地域福祉の課題に取り組んでいます。知的障害・精神障害のある方、高齢者、子どもなど1000名を超える利用者の皆様を約600名の職員がサポートしています。

## 一緒に働きませんか?

正職員、契約職員、パート職員として働きたい、ボランティアをしたいという方は、南山城学園の採用サイトをご確認ください。  
<http://r-minamiyamashiro.com/>



## 編集後記

夫の実家での話。行く前に夫が「お昼たくさん食べてきたのでご飯はいらない。」と電話しました。私たち息子夫婦を出迎えてくれた義母は、「美味しい肉まん買ってきたの!」と。「おなかいっぱいから、持って帰るわ。」との夫の呼びかけに「はいはい!」と返事する義母でしたが、奥から「チーン」という電子音。お互いを思いやっていたことに笑ってしまうのですが、親子でもコミュニケーションって難しいものなんだなと感じた一コマでした。(田中)



当事者の講演で理解を深める

「特別じゃない、私たちには  
普通のことです。」

毎年4月の自閉症啓発週間に合わせて、「発達障害への理解を広める啓発セミナー」を開催しています。地域の方だけでなく、小学校教諭、保育士、福祉従事者など専門職の方も多数参加しています。



平成28年4月16日開催のセミナーでは、当事者でもあり精神保健福祉士としても活躍されている笹森理絵氏を講師に招きました。[障害者支援施設 光(ひかり)主催]

## 障害者を身近な存在に。

日頃から障害者との関わりがなく、身近でないことから「どう接していいのかわからない」、「少し怖い」という印象があり、スーパーやコンビニで出会っても遠くからでしか見ることができない存在になっていることが多いのが現状です。そうしたことから、南山城学園では現場から一歩踏み出し、障害のある人たちへの理解が広がるように様々な場所で講演する機会を設けています。



実践モデルで理解を深める

「働きやすい職場、働きたい職場、  
誇りに思える仕事は、  
障害の有無に関係なく大切です。」

法人の相談支援事業所では、市民向け啓発講座や、一般企業で障害者雇用を積極的に進めるモデル企業の実践事例、また小学校と地域の福祉事業所との連携による実践事例の報告会を行政などと連携して行っています。福祉従事者及び関係団体の支援力アップを図ると共に、地域住民への理解を呼び掛けます。



障害者雇用を積極的に取り組む企業の実践報告として『はあとウォームフォーラム2016』を平成28年11月11日に開催。[山城北園域障害者自立支援協議会就労部会主催、山城北園域障害者総合相談支援センターういる共催]

## 中期経営計画2020

(創立50周年を機に策定した  
「ネクストビジョン2025」内)

- (1) 障害者の地域移行
- (2) 高齢障害者の居住安定
- (3) 高齢者福祉の充実
- (4) 地域コミュニティの活性化
- (5) 福祉教育・啓発の推進**
- (6) 魅力ある職場づくり
- (7) 災害時の対応
- (8) 保育・子育て支援事業の展開
- (9) 生活困窮者への支援
- (10) 研究と実践の連携

(5)

### 福祉教育・啓発の推進

障害者や高齢者への理解を促進するため、学校と連携した出前講座や啓発広報活動を実施し、人権尊重の意識の醸成につとめ、福祉の街づくりに貢献します。

近隣の清仁保育園との交流会の様子

福祉の  
街づくりを  
地域とともに



特集・福祉教育・啓発活動



作品展で理解を深める

「思いのままに。」

障害者支援施設に入所されている利用者様の合同作品展『という展』を毎年開催しています。ひとつの作品を作り上げるいわゆる障害者アートとは一線を画し、粘土、鉛筆、絵の具など様々な手段で思いを表現したものをそのまま展示しています。そのとらえ方もまた、観る人それぞれの思いのままに。セミナーや報告会とは違った観点から、知的障害の世界に触れることができます。



障害者支援施設 円(まどか)、和(なごみ)の合同作品展は平成28年度で第4回目です。

# 未来の担い手、理解者を育てる

地域に出向いて福祉の講演・交流をしています。



現場の若手職員が「福祉施設」について講演。



年に3回ほどコンサートを実施。

## 中学校の吹奏楽部で コンサートの前に学習会

毎年、城陽エリアでは南城陽中学校の吹奏楽部の学生たちによるコンサートを実施しています。障害者・高齢者の入所施設に初めて行く、関わる学生が多く、「利用者の方との接し方を教えて欲しい」という声から事前学習会が4年前からスタートしました。今では、ベテランの3年生が1年生に教える姿もあり、積極的に関わっていただけようになりました。



平成26年から京都光華女子大学で開講し、3年間で117名の学生が資格を取得。



平成28年から大谷大学でも開講。

## 大学生を対象にした ガイドヘルパー講座

福祉職従事者や地域の方のみならず、これからの福祉人材を育成するため、大学内全学部の学生を対象にガイドヘルパー講座（知的障害者移動支援従事者養成研修課程）を実施しています。現在は、3日間のコースを京都光華女子大学、大谷大学で開催しています。



1回生の学生に福祉の現場について講義。



女性のワークライフバランスについて、女性管理職が講義。

## 社会福祉士を目指す学生 たちへの講演

福祉職を目指す学生に、実際の現場の様子や職員自身の失敗した経験談、また福祉職のキャリアアップなど様々な内容を現場視点で伝えるゲストスピーカーとして、毎年、各大学にて講演をしています。社会福祉士取得のための実習を終えた学生と実習指導者がディベートをする授業など、ニーズに応じてお伝えしています。



富野小学校にて、障害者支援施設 翼(つばさ)の西田施設長が講演。

## 近隣小学校と障害者が 塗り絵などで交流

城陽市、京都市伏見区のエリアともに、学区内の小学生を対象に福祉教育を実施しています。城陽エリアでは、富野小学校の全校生徒を対象に「カレーとハンバーグ」、「体育と算数」を例に「どちらが好き」と児童にとって身近な内容で問いかけて、一人ひとりの違いがあるのと同じように、障害もひとつの違いであって、良し悪しを判断することではないことを伝えました。

醍醐エリアでは、春日野小学校の4年生を対象に年2回の交流会を実施しています。1回目は施設見学、2回目は児童たちが考えた交流できる活動を実施しています。



春日野小学校との交流会にて、児童が用意したちぎり絵で交流。



最後には、春日野小学校の児童から疑問や感想などたくさんの方が挙がりました。

今年度、障害者支援施設 輝(かがやき)では塗り絵とちぎり絵、DIYサービセンスターわこうでは、広場の雑草抜きを一緒にしました。はじめは利用者の方にどう伝えていいのか分からなかった子どもたちも、言葉だけではなく手を添えて教えたり、身振りで教えたりすることで少しずつ距離が縮まり、お互いに有意義な時間になりました。同じ地域住民として生活していること、不自由になっている人や困っている人を見つけた時は、交流会で皆が伝えていたようにそつと声をかけてほしいことを伝えました。



和 傾聴ボランティア

当法人の各事業所では、色々な場面において、たくさんの方に協力いただいています。そのシーンは、イベントのお手伝いから、ひとつのことに特化した活動まで様々です。今回は障害者支援施設「和(なごみ)」での傾聴の活動を紹介します。



「毎日日記書いているねん。」  
「そうなんです、続けておられるのすごいですね。」

「この時計、新しく買ってん。お気に入り。」  
「わあ、かっこいいね。良く似合ってますわ。」



「この時計、新しく買ってん。お気に入り。」  
「わあ、かっこいいね。良く似合ってますわ。」

傾聴に関する専門の講習を受け、勉強してから活動に入ります。ただ話を聴けばよいというものではありません。お一人お一人の個性を尊重し、ゆったりとした気持ちでお話しいただける雰囲気を作ることが大切です。メンバーの中には、ケアマネージャーや障害者支援施設でのお仕事経験のある方もおられ、傾聴の他にも手話サークル、日本語支援、マンドリンサークルで施設への慰問など、メンバーそれぞれが複数の

活動をされています。

「こないだカラオケ行って、20曲も歌ったよ。」  
「20曲！声かれそうですわねえ。十八番は何ですか。歌ってみてください。」

「え、恥ずかしいわ……」

「私は演歌は好かん。『時代』(中島みゆき)が好き。あと研ナオコの歌も。」

「え、恥ずかしいわ……」  
「私は演歌は好かん。『時代』(中島みゆき)が好き。あと研ナオコの歌も。」



「この時計、新しく買ってん。お気に入り。」  
「わあ、かっこいいね。良く似合ってますわ。」



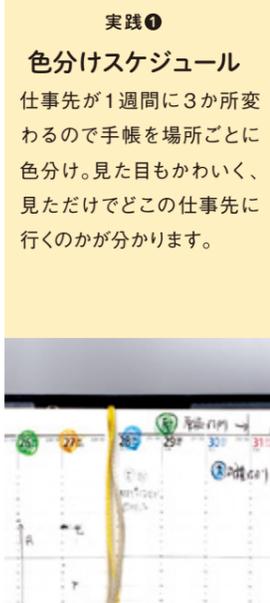
「この時計、新しく買ってん。お気に入り。」  
「わあ、かっこいいね。良く似合ってますわ。」

「家庭のごちゃごちゃをすっきり暮らしやすく」

監修 南山城学園 障害事業局  
スーパーバイザー  
澤 月子 (発達心理士)



前号に引き続き、「おうちでできる構造化」についてご紹介します。街中には高齢者や障害のある方だけではなく、外国の方にも分かりやすいマークなどが点在しており、そのおかげで国籍や個人差を越えて、利用しやすい環境になりつつあります。今回は私が日常的におうちで取り入れている、見ただけで分かる「見える化」の紹介です。

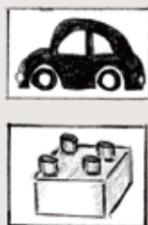


実践①

**色分けスケジュール**  
仕事先が1週間に3か所変わるので手帳を場所ごとに色分け。見た目もかわいく、見ただけでどの仕事先に行くのかが分かります。

実践②

**2歳でもわかる仕組みに**  
お孫ちゃんが来るとき、おもちゃ箱に何が入っているか分かるように印をしています。視覚的に分かれば、こちらが誘導しなくても子どもが自ら見つけ出せるようになっていくかもしれません。



実践③

**終わりがわかるように**  
健康上の理由で、1日2ℓのお茶か水を飲むことを医者から指示されています。2ℓがどれくらいなのか明確に、そして後どれくらい飲んだらいいのか分かるようにペットボトルに番号を振りました。



実践はオーダーメイド、皆さんも構造化スタイルにレッツトライ！

文科省は、「授業のユニバーサルデザイン」についてたくさんの事例を紹介しています。授業中、黒板の周りの掲示物はカーテンで隠し授業以外の不要な刺激を避ける、低学年の教師は、1文1動詞で話すようになどです。家庭に置き換えてみるとどうでしょうか。周囲に不要な刺激になるものはありませんか？ダラダラと長い言葉かけをしていませんか？



教えて！ おうちでできる構造化

自己管理編

お知らせ

第9回南山城学園後援会  
チャリティフェスタ

南山城学園後援会主催のチャリティフェスタを1月に開催します。参加無料ですので、ご家族、ご友人をお誘いの上、お越しください。

[日時] 1/28(土) 14:00~16:00

[場所] ウェスティン都ホテル京都

[内容] ・平成27年度実践研究発表会における最優秀・優秀事例の発表  
・熊本地震災害派遣職員による報告  
・タップダンスと生演奏

平成28年度実践研究発表会

日頃の実践を専門的な観点から研究した成果を発表します。今年は過去最多の13施設による発表を行いますので、ぜひお越しください。

2/18(土) 13:00~16:20

醍醐和光多目的ホール(京都府京都市伏見区日野西川4-7)

2/19(日) 13:00~16:20

彩雲館(京都府城陽市富野狼谷2-1)

ぶちぽんとkitchen+farmが  
新しくなりました

ぶちぽんとファームで育てた野菜をふんだんに使った「からだが喜ぶお野菜カフェ」として生まれ変わりました。個室の貸切ルームもあるので、赤ちゃんがいるママもゆったり過ごせます。

住所:京都府城陽市富野東田部69-1

http://puchipont.com/



2/25(土)、26(日)という展(作品展)

文化パルク城陽にて障害者支援施設 円(まどか)、和(なごみ)の合同作品展を開催します。言葉で表現できない想いを作品にしています。ぜひ、ご覧ください。

2/25(土)、26(日)文化パルク城陽(京都府城陽市寺田今堀1)

